

## 介護職員等処遇改善加算にかかる情報公開（見える化要件）

介護職員の処遇改善につきましては、これまでも何度か取り組みが行われてきました。令和8(2026)年6月の介護報酬改定においては、加算を算定するにあたり、**介護職員等処遇改善加算に基づく取組について、ホームページへの掲載を通じた見える化を行っていること**の要件を満たしている必要があります。

この要件は、介護サービスの情報公開制度や自社のホームページを活用して、新加算の取得状況、賃金改善以外の処遇に関する具体的な取組内容を公表していることです。

以上の要件に基づき、当法人における処遇改善加算に関する具体的な取り組み(賃金以外)につきまして、以下の通り公表いたします。

	職場環境要件項目	当法人としての取組
入職促進に向けた取組	事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築	必要時には共同で面接を行っている。また、本人の希望や勤務形態に応じて人事ローテーションを行っている。
	職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力度向上の取組の実施	地域の高校生や小中学生にイベントのボランティアを依頼したり、学校に出向いて授業や講話を実施。また介護・医療・福祉の学生の実習の受け入れをしている。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対するユニットリーダー研修、ファーストステップ研修、喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	研修費等の補助、勤務シフトの考慮等を行うことにより、職員が研修や講習を受けやすい環境を整えている。(労働時間としての研修、受験など)
	上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保	半年～1年に一度、上位者による面談を行い、キャリアに関するアドバイスを行っている。

両立支援・ 多様な働き 方の推進	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を 目指すための休業制度の充実、事業所内託児 施設の整備	看護休暇の導入や1時間単 位からの有休取得を導入し ている。
	職員の事情等の状況に応じた勤務シフト や短時間正規職員制度の導入、職員の希望 に即した非正規職員から正規職員への転 換の制度等の整備	可能な限り希望に応じてシ フトの作成を行っており、 有給休暇を取得しやすい雰 囲気作りを行っている。
腰痛を含む 心身の健康 管理	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診 断・ストレスチェックや、従業員のための 休憩室の設置等健康管理対策の実施	健康診断を実施している。 社会保険未加入の職員も、 希望者に無料の健康診断を 実施している。
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作 成等の体制の整備	各種事故対応マニュアルや 委員会を整備し、事故の予 防に繋げている。
生産性向上 のための業 務改善の取 組	現場課題の見える化(課題の抽出、課題の 構造化、業務時間調査の実施等)を実施し ている	管理者会議において、現場 の課題の分析を行ってお り、議事録を通じて職員に 周知を行っている。また、 改善のための活動も行っ ている。
	5S活動(業務管理の手法の1つ。整理・ 整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったも の)等の実践による職場環境の整備を行っ ている。	各事業所の会議において話 し合いを行い、担当者の中 心に基本的に毎日行ってい る。
	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工 夫による情報共有や作業負担の軽減を行っ ている。	各種マニュアルを整備して いる。
	業務内容の明確化と役割分担を行い、職員 がケアに集中できる環境を整備。特に、間 接業務(食事の準備や片付け、清掃、ベッ トメイク、ごみ捨て等)がある場合が、い わゆる介護助手等の活用や外注等を担うな ど、役割の見直しやシフトの組み換え等 を行う。	事務員や裏方の業務を担っ て頂ける職員を配置してい る。
	【障害のみ】業務支援ソフト(記録、情報 共有、請求業務転記が不要なもの。)、情	タブレットを貸与し、カル テの入力を効率的に行える

	報端末(タブレット端末、スマートフォン 端末等)の導入。	ようにしている。
	各種委員会の共同設置や、各種指針・計画 の共同策定、物品の共同購入等の事務処理 部門の主役、共同で行う ICT インフラの 整備、人事管理システムや福利厚生システ ム等の共通化等、協働化を通じた職場環境 の改善に向けた取組の実施	事務部門が実務と ICT を用 いて連携している。電子勤 怠も導入。
<b>やりがい・ 働きがいの 醸成</b>	ミーティング等による職場内コミュニケ ーションの円滑化による個々の介護職員 の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容 の改善	朝礼や申し送りで情報共 有、チームミーティングの 実施でケア内容の改善を 図っている。
	地域社会への参加・包容の推進のため、地 域包括ケアの一員として、モチベーション 向上に資する、地域の児童・生徒や住民と の交流の実施	地域共生イベントのボラン ティアを募ったり、ポッチ ャを通じた交流会を実施
	利用者本位のケア、支援方針など介護保険 や障害福祉、法人の理念等を定期的に学ぶ 機会の提供	カンファレンスや研修会を 通じて学ぶ機会を提供して いる。
	ケア、支援の好事例や、利用者やその家族 からの 謝意等の情報を共有する機会の提 供	カンファレンスや各委員会 を通じて好事例の情報共有 を行っている。